

# 【先進的な漏水調査技術に関する研究】 募集要綱

令和6年11月27日  
神奈川県企業庁企業局

神奈川県企業庁の「外部機関との共同研究に関する要綱」（以下「別紙要綱」）及び本募集要綱に基づき、共同研究を実施する相手方を広く募集します。

## 1 共同研究テーマ

先進的な漏水調査技術に関する研究

## 2 共同研究の趣旨

県営水道では、漏水事故の未然防止に向けて、様々な漏水対策事業に取り組んでいますが、漏水対策を更に強化するためには、地下漏水の早期発見を効率的に行うことが重要になります。

そこで、本研究は、更なる漏水対策の強化を目指し、ICTをはじめとする技術を活用して事業の効率化を図るため、実用化されている漏水検知システムの性能アップ、新たな調査機器の開発や効果的な漏水調査方法等、先進的な漏水調査技術の研究を行うものです。

## 3 共同研究の方法

共同研究者には、水道管路等の水道施設や県営水道が所有する漏水調査技術・分析のノウハウ、漏水履歴情報等を提供します。研究テーマ・趣旨に沿って、具体的な研究内容を提案してください。

なお、実際に研究で使用する水道施設や各種データ及びその活用方法等については、提案内容に基づき協議により決定します。

研究期間終了時には、研究結果を報告書としてまとめ、提出していただきます。また、研究期間が複数年に亘る場合は、中間報告書を提出していただきます。

## 4 研究費用

提案者が負担するものとし、原則として企業庁は費用負担しないものとします。

## 5 募集期間

令和6年11月27日（水）から令和7年2月20日（木）まで

## 6 研究実施期間

原則として3年以内とします。ただし、協議により研究実施期間を延長することは可能です。なお、開始時期については、協議により決定します。

## 7 応募資格

「別紙要綱」第4条に示す機関であり、研究課題について企業庁と共同で研究を実施できる体制が整っていること。

なお、「別紙要綱」第4条に示す複数の機関が共同で提案することも可能です。

## 8 提出書類

- (1) 「先進的な漏水調査技術に関する研究」共同研究提案書（様式1）
- (2) その他必要な説明資料等

なお、提出していただいた書類は、不採用になった場合も返却いたしません。また、提案書の内容について、企業庁が必要と認めるときは提案者の同意を得た上で、公開、提示することがあります。

## 9 審査について

共同研究提案書の内容について、企業庁内の審査会にて「別紙要綱」に基づき審査し、採否を決定します。

採否の結果は、令和7年3月21日（金）までに共同研究審査結果通知書を提案者に発送（郵送）します。

なお、提出された共同研究提案書の内容について、随時ヒアリングさせていただく場合があります。

## 10 協定書の締結について

採用された提案者には、「別紙要綱」に基づき企業庁と研究計画について協議を行い、その結果を研究計画書として提出していただきます。また、研究内容、方法、研究成果及び知的財産権の取り扱い等の必要事項に関して協議、確認を行い、協定を締結していただきます。

## 11 提出期限及び提出方法

令和7年2月20日（木）までに、提出書類2部を下記提出先に持参又は郵送（必着）してください。

提出先 〒231-8588 横浜市中区日本大通1（神奈川県庁新庁舎10階）  
神奈川県企業庁企業局総務室  
電話 045-210-7025（ダイヤルイン）

※ 持参の場合の受付時間 平日午前8時30分から午後5時15分まで

## 12 共同研究に関する問合せ先

質問等がございましたら、下記問合せ先まで電話又はEメールでお問合せください。

### 【応募方法について】

神奈川県企業庁企業局総務室  
電話 045-210-7025  
Eメール ki-kikou.3001@pref.kanagawa.lg.jp

### 【研究内容について】

神奈川県企業庁企業局水道部水道施設課  
電話 045-210-7278  
Eメール ki-suidou.3153.routai@pref.kanagawa.lg.jp

## 1. 県企業庁が取り組んでいる漏水対策事業

### (1)漏水調査業務委託

- ▶ 音聴式漏水調査により、給水区域内全域を2年サイクルで調査する。

### (2)河川横断管（伏越部）等漏水調査業務委託

- ▶ 河川や水路の下などの水道管に対して相関式漏水探知器を用いた調査を行う。

### (3)基幹管路漏水調査業務委託

- ▶ 大口径の基幹管路に対して、長距離相関式漏水探知器を用いた調査を行う。

## 2. 県企業庁が現在取り組んでいる共同研究

### 既設大口径管路における漏水探査技法の確立に関する研究

- ▶ 超小型録音装置により管内部から漏水位置を特定するための新たな漏水探査技法を確立するとともに、管内調査カメラで漏水履歴のある管の内面状況を確認する研究。